

SCIO

Independence
Correction Orientation

関東矯正管区管内
少年矯正広報紙

スキオ

NO. **93**

特集

喜連川少年院における

宇都宮高等学校通信制課程喜連川教場について

—喜連川教場について紹介します—

「道の駅きつれがわ」との連携について

—道の駅との歩みについて紹介します—

コラム

宇都宮少年鑑別所における

外部講師による運動指導について

学ぶ喜び 連なる絆

人を育む新たな大河

喜連川少年院



喜連川少年院の紹介

当院は、関東地方及び新潟県の家庭裁判所で少年院送致決定がなされた16歳7月以上の男子少年で、心身に著しい故障がなく、犯罪傾向が進んでいない者が収容対象です。

また、18歳以上になって受けた保護観察中の者で、少年院に収容して集中した各種の指導を実施することが必要とされた男子少年も対象です。

栃木県さくら市の喜連川地区の北西寄りの高台・丘陵地帯にあり、

周囲は比較的緑が多い環境です。周辺には、喜連川神社や御用堀があります。少し離れたところには、「道の駅きつれがわ」のほか「日本三大美肌の湯」として知られる喜連川温泉があることから、温泉施設やホテルがあります。

自然と歴史を感じられ、人々の憩いの場となるような穏やかな雰囲気の中、地域の方々の御支援をいただきながら矯正教育を実施しています。

当院の特色のある矯正教育と

して、少年院では全国唯一の高等学校通信制課程の分教場を設置しており、当院にしながらスクーリングを受けることができます。

また、分教場に在籍していない少年に対しても高等学校卒業程度認定試験合格に向けた学力を身に付けさせるための指導を行うとともに、農耕班、園芸班、陶芸班といった製品企画科を設置しており、「働きながら学ぶ」経験を積めるようにしています。



喜連川少年院案内図



グラウンド風景

◆特集 一字都宮高等学校通信制課程「喜連川教場」について

喜連川教場について

当院には、全国の少年院で唯一、公立通信制高等学校の教室である栃木県立宇都宮高等学校通信制「喜連川教場」が設置されています。喜連川教場は昭和49年に開設され、現在まで約750名が在籍しました。月曜日及び金曜日にレポート作成等に取り組み、木曜日には宇都宮高等学校本校の教諭が来庁してスクーリングを実施しています。また、本校の学校祭やスポーツ大会に参加して、特別活動の単位を修得します。当院で実施されるレクリエーションでは、教場生、本校教諭、当院職員が参加して交流を深めています。

このように、教場生は少年院職員以外の多くの教諭と接することで、学力向上だけでなく、感情表現が豊かになっていることも感じます。



スクーリング教室

■ 年間スケジュール ■

- | | |
|-----|------------|
| 4月 | 入試面接 |
| 5月 | 入学式 |
| 6月 | 教場レクリエーション |
| 8月 | 前期試験 |
| 9月 | 本校学校祭 |
| 11月 | 本校スポーツ大会 |
| 12月 | 後期試験 |
| 3月 | 卒業式 |

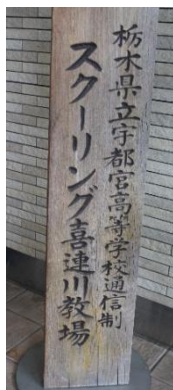


入学式

また、少年院出院後も卒業まで本校への通学等を要する場合もあることから、少年院在院中に本校への通学方法を体験させたり、当院職員、本校教諭、保護観察所等の関係機関と出院後の通学継続に当たっての課題等について意見交換を実施したりするなど、出院後の学業継続の動機付けを図る取組を行っています。

こうした喜連川教場における取組は、大学等への進学や就職に寄与し、ひいては再犯・再非行防止にもつながる教育の場でもあります。

少年院の在院期間と入学時期等の都合で、令和8年度の編入学者は2名となっています。本校通信制課程が令和10年度末で他の高等学校と統廃合されますが、この当院における「学び直し」の貴重な場を継続していけるよう、関係機関と連携を図ってまいります。



和 質 自 進 勤
敬 実 律 取 勞
信 剛 自 究 愛
愛 健 治 明 好

宇都宮高等学校通信制課程
生徒指標

◆特集 — 「道の駅きつれがわ」との連携について—

道の駅との歩みについて

当院と「道の駅きつれがわ」との連携は令和4年10月から始まりました。

以前は、就業に必要な専門的知識及び技能の習得を目的とし、職業指導として農耕、園芸、陶芸作業等を実施し、当院で栽培された野菜は少年の食事にのみ使用されていました。しかし、全国的に少年院における職業指導が見直され、製品の企画から販売までを体験させることを

目的とした取組が始まり、当院でも製品を外部で販売することとなりました。そして、「道の駅きつれがわ」の御理解と御協力を得て、当院で作った野菜や陶器を販売していただけることになりました。そのおかげで少年に自らが作成に携わった野菜や陶器の納品体験の機会を与えることができるようになりました。

「道の駅きつれがわ」におい

て当院の職業指導製品の販売が始まってから、少年は日々の作業において達成感や自信を得るとともに、働くことの意義や社会とのつながりを実感することができています。職員においても、社会のニーズを意識した製品企画を指導するようになるとともに、就労意欲や責任感を涵養する指導が実感を伴ったものになりました。

当院の製品ができるまで

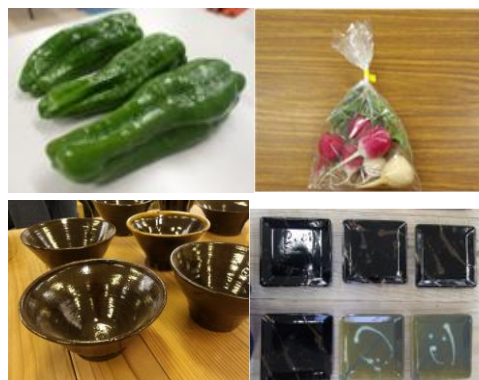
【野菜】

農耕、園芸作業では、季節によって土作り、播種、除草、収穫等の作業を行います。野菜作りを初めて体験する少年もいますが、教わりながら、少しずつ覚えていきます。職業指導の時間は週3日程度であり、夏場は除草作業に追われます。厳しい天候に耐え、地道に作業し、育てた野菜が実をつけることに、少年たちは感じるものがあるようです。野菜に傷を付けないう、収穫、梱包し、出荷します。

【陶芸製品】

陶芸作業を行う少年は、まず「菊練り」という、粘土の中にある空気を抜き、粘土の状態を整える作業を覚えることから始まります。できるようになるまでに、1か月程度かかります。その後、型を使った製品作りや電動ろくろを使った製品を作成します。水漏れやひび割れがなく、出荷できる製品を作れるようになるまでには、3か月程度かかります。時間を掛けて根気強く作業し、思いどおりの製品ができあがった時の喜びはひとしおです。

なお、梱包袋には、生徒がデザインしたシールを貼っています。



野菜と陶芸製品



「道の駅きつれがわ」の販売コーナー



コラム

◆ 外部講師による運動指導について ◆ 宇都宮少年鑑別所における

健全な育成のための支援とは？

少年鑑別所法第29条で「在所者の健全な育成のための支援」として学習等機会の提供等が規定されています。これは、在所者に対し、その自主性を尊重しつつ、学習、文化活動その他の活動の機会を与えるとともに、その活動の実施に関し必要な助言及び援助を行うものです。

宇都宮少年鑑別所における取組の紹介

当所において、健全な育成のための支援の一環として20年以上にわたり在所者への運動指導に協力いただいている外部講師(スポーツインストラクター)に、これまでの支援活動について客観的な立場から振り返っていただきました。我々法務教官の処遇との共通点も多く、大変有意義な対談となりました。外部講師は、令和6年に、長年の貢献と功績により法務大臣表彰を授賞されています。

① 在所者に指導する上で、工夫しているポイントはありますか？

まず私自身が姿勢をただすことで、第一印象を大切にしています。そして、専門用語は避け、いかに伝わりやすい言葉で在所者の興味・関心を引き出せるか常に工夫しています。

講師

② 20年前と比べて、在所者の特徴や特性の変化を感じますか？

本当に変わったなと実感しています。

講師

最近の在所者は、体つきも内面も以前よりとても未熟で、平衡感覚も悪いためケガにつながるリスクが高いです。また、感情は表に出ませんが、構ってほしいという傾向も強く感じます。かつての、ヤンチャだけど一生懸命な少年は減りましたね。

講師

③ これまでの運動指導を振り返り、伝えたいメッセージはありますか？

時代や在所者の特性は変化しても、「基礎」の大切さはずっと変わりません。最初はごちなくても、続けることで確実に上達しますし、態度や表情も柔らかくなっていきます。これからもそういう姿を見続けていきたいです。

講師



※少年役(職員)

在所者は、屋外では、バスケットボール指導を通して運動することの楽しさを、屋内では、各種ストレッチや身体操作訓練等を通してバランスや姿勢保持の大切さを体験しています。



喜連川少年院オリジナルキャラクター キツレンジャー

関東矯正管区管内少年矯正広報紙 SCIO（スキオ）

第93号 令和8年10月発行

編集責任者 関東矯正管区少年矯正部長 市川 真由美

編集・印刷 喜連川少年院

〒 329-1412

栃木県さくら市喜連川3475-1

電話 028-686-3020

「SCIO」（スキオ）とは、ラテン語で、「知る」という意味です。それは矯正教育の目標でもある、次の四つの英単語の頭文字の組合せから成る言葉でもあります。

Socialization （社会化）

Correction （矯正）

Independence （自立）

Orientation （方向付け）

次号は令和9年2月、水府学院、水戸少年鑑別所を担当庁として刊行の予定です。